

地域での取り組み【2024年度の状況】

「コープのあるまち 協同のある暮らし」



地域と協働した
取り組みを動画で
紹介しています。

買い物 行こカー

高齢の方や妊娠中の方など、
普段の買い物にお困りの方を対象に、
自宅と店舗の間を無料で
送迎するサービス。
現在**32台、37店舗**で運行
しています。

免許返納により
買い物に行く手段が
なくなる。

移動店舗

買い物が不便な地域へ定期的に
専用の車両で商品供給に伺う移動型店舗。
現在**10台、515カ所**で運行
しています。

障がいのある方が
安心して活躍できる場を
もっと広げてほしい。

地域との協働宅配

障がいのある方の就労や実習の場、
また、**地域のコミュニティづくり**として、
宅配サービスのしきみを
活用した取り組み。

地域との協働による
「週一宅配」……………5エリア
「めーむひろば」……………11拠点
「まいくる」……………2エリア

まいくる

栄養バランスに配慮した夕食弁当をお届け。
現在、**1日あたり9887食**の利用が
あります。

買い物支援 ボランティア

一緒に、商品を探したり、商品の袋詰めを手伝ったり、
組合員の買い物を組合員がサポートする取り組み。
現在、**7店舗**で取り組んでおり、うち、
5店舗は買い物行こカーの運行日に
合わせて活動しています。

健康づくり

兵庫県生協連や医療生協など、
地域の協同組合と連携し、健康づくりに向けた
取り組みの習慣化をめざす「健康チャレンジ」。
2024年度はコープこうべから
約900人が参加しました。

ただ買い物を
するだけでなく、ちょっとした
コミュニケーションをとる場にも
なるので、コープならではの
活動だと思います。

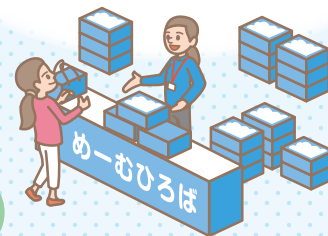
コープ委員、
やってみると楽しい。
楽しさをみんなに
伝えたい。

地域コープ委員会

「学んで、伝えて、つながって」を
キーワードに活動。
活動を通じて、よりよい暮らしや地域の
実現をめざします。2024年度は
139委員会1331人の委員が
活動しています。

地域めーむひろば

地域の企業の事業所など、店舗以外の場所で
宅配商品の受け渡しをする「地域めーむひろば」。
現在**50カ所**に広がっています。



地域つながるミーティングで
地域の他団体との
連携交流が広がっている。
これからもこの活動を
持続してほしい。

地域つながる ミーティング

同じ地域で活動する地域の団体・個人、
コープサークル、コープ委員、総代などが出会い、交流し、地域の課題や
多様なテーマに沿って協働に向けた話し合いが行われています。
2024年度は**3441人(うち地域の方1089人)**が参加しました。

コープサークル

「興味や関心のあることをはじめてみたい」
「自分を生かせることをしてみたい」
「仲間といっしょに楽しみたい」
そんな思いをカタチにする場です。
2024年度は**1072サークル9736人**が
登録し、活動しました。

地域への食支援

家庭で使い切れない食品を持ち寄り、
まとめてフードバンクや福祉団体に
提供する**フードドライブ**の取り組み。
2024年度は**49.3t**集まりました。
また、店舗・宅配からは**20.4t**を提供
しました。
355の地域団体に提供
しました。

子ども食堂が増えているので、
これからもフードドライブの
取り組みを続けてほしい。

お米を贈ろう 助け合い募金

くらしの不安を少しでも和らげたいと願い
募金を実施。2024年度は**約458万円の善意**が
寄せられました。集まった募金でお米類を調達。
子ども食堂や困窮者支援団体等に
提供しています。

コープこうべの奨学金 「てとて」

経済的に厳しい家庭の高校生などに、月額1万円の
奨学金を卒業まで給付する制度。2024年度の募金額は
約679万円、これまでに**326人の高校生**
(卒業生含む)に給付しました。

コープくらしの 助け合いの会 (兵庫県内) 助け合い制度 コープむつみ会 (大阪北地区)

組合員同士の
助け合いの輪が
広がることはとても
心強い。

協同互助の精神に基づいて
家事支援などを行う、組合員同士の
有償の活動です。2024年度は
**のべ2763人が活動し、
のべ3634人が利用**しました。

たすけタッチ

「ゴミ出し」など、ちょっとした困りごとを
コープこうべアプリを使って、
ご近所同士で解決する取り組み。
手助けしてほしい組合員と
手伝える組合員がつながって
実施された助け合いは
2024年度末まで
6638件になりました。

気軽に
助け合いのしくみ。
もっと多くのエリアに
たすけタッチが
広がってほしい。

コミュニティ食堂 子ども食堂

「コミュニティ食堂」や「子ども食堂」は、
地域における「居場所・見守り拠点」と
なっています。コープサークルが運営する
「コミュニティ食堂」や「子ども食堂」は、
現在**48カ所**に広がっています。

物価高騰により
家計が苦しい世帯、
特に子どもたちへの
サポートが必要。

ふれあい喫茶 子育てひろば

コープサークルが運営する居場所づくりの
取り組み。「ふれあい喫茶」は現在**84カ所**、
「子育てひろば」は**68カ所**に
広がっています。

ふれあいの場が増え、
地域の横のつながり
が広がっている。

地域交流する場
が増えれば
いいと思う。

ふれあいひろば つどい場

コープカルチャーの跡地を活用した、
新たな活動支援拠点「ふれあいひろば」は現在**7カ所**。
また、地域の人々がだれでも立ち寄れる
コープのつどい場は、
32カ所に広がっています。
だれでも立ち寄れる「居場所」であると共に、
多様な人が集まる「出会いと交流」を
めざしています。

トライやる・ウィーク

中学生の職場体験として
2024年度は**135校373人**を
受け入れました。